第7号

兵庫県のり漁場環境情報（淡路周辺海域　２　号）

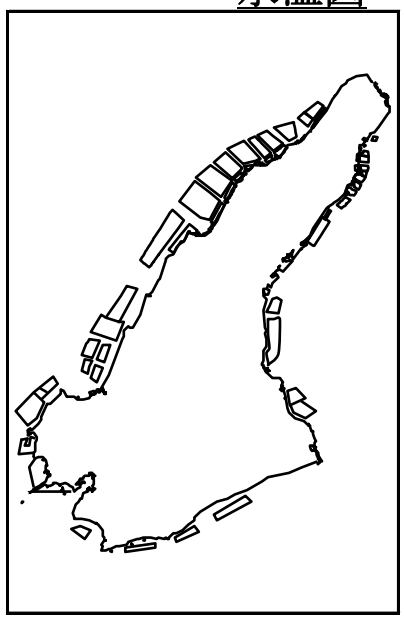
2026年 10月30日発行
兵庫のり研究所

海域全般に、大型珪藻のBellerochea horologicalis(らせん状)が前回同様に確認されますが、発生量はやや減少しています。そのため、窒素は西浦・南浦漁場で概ね１～２μg-at／Ｌ台、東浦漁場で３～６μg-at／Ｌ台とやや上昇しています。

（珪藻、栄養塩）

Bellerochea horologicalis発生量は、西浦漁場で20～80細胞/ml(前回値：10～250細胞/ml)、南浦漁場で10細胞/ml以下(前回値：120細胞/ml)、東浦漁場で10細胞/ml以下(前回値：10～25細胞/ml)であった。また、前回確認されたキートセロス等の小型珪藻はほとんど確認されなかったため、海域全般にリンの値もやや上昇していた。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	3.4	**4.4**	3.6	4.4
	リン	0.41	**0.45**	0.50	0.51
西浦地先	窒素	1.3	**1.8**	4.1	3.0
	リン	0.19	**0.23**	0.59	0.52
南浦地先	窒素	0.7	**1.7**	3.0	2.7
	リン	0.20	**0.29**	0.55	0.49
		(10/22)			(10/27)

栄養塩（窒素）図

2026年 10月 30日調査

